

ジュニアイングリッシュキャンプ

1 事業のねらい

幼少期の子どもたちに英語や異文化に触れる機会をつくり、世界に通用する人材の素地を養うとともに、保護者のグローバル社会における子育てのあり方についての意識向上を図る。

2 事業の概要

- 期日 R2.9.26(土)～27(日) 1泊2日
- 対象 幼児～小学校2年生とその保護者
- 人数 家族22組 66名
- 場所 ネイパル北見
- 協力 オホーツク管内のALT15名

3 プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
9/26(土)	(受付 13:00~13:30)							受付	開会式	英語でコミュニケーション	休憩	【子ども】英語に挑戦	夕食	【子ども】英語で遊ぶ 【保護者】講演会 フリーカフェ	入浴・自由	就寝	
9/27(日)	起床・洗面	朝食	清掃点検	エンジョイ！ イングリッシュ	閉会式	[解散 11:30]											

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- ALTによる保護者への語学教育や学習のアドバイス
 - ・保護者プログラムにおいて、ALTから語学習得のためのアドバイスを受たり、保護者同士が情報交換したりすることにより、グローバル社会における子育てのあり方について考えることができるようにした。
- 発達段階に合わせた活動
 - ・子ども対象のプログラムでは、「read」「conversation」「exercise」のテーマで3つのプログラムを設定し、学年層で分けた子どもたちが順に体験できるよう割り振り、発達段階に合った内容で活動ができるようにした。

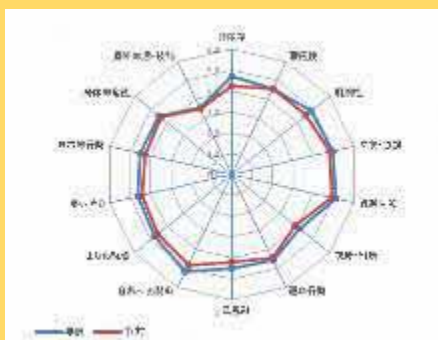


グローバル社会について学ぶ



学年層で分け、英語で交流

5 事業の評価



■IKR調査による変化

- ・「非依存」が0.5P、「自然への関心」が0.4P向上

■参加者の声

- ・英語しか話せないところにいると、覚えるのが早くなって良いと思った。(子ども)
- ・親自身もALTと交流することができ、このように英語に触れる機会があれば、また参加したいです。(保護者)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加対象を5歳児から小学2年生までとし、幼少期に合わせたプログラム構成にしたことや各グループに2名ALTを配置したことで、参加者がALTと一緒に活動し、交流する時間を確保することができた。
- プログラム間の移動や食事などの時間に余裕をもたせ、自由な雰囲気でもALTと英語で交流できる仕掛けをするなどして、異文化に関心を高めるようにする必要がある。



企画のポイント

発達段階に合わせて英語を学ぶとともに、保護者への学習と交流の機会も提供。

ジュニアイングリッシュキャンプ

1 事業のねらい

外国の言語や文化に触れる機会の提供をとおして、グローバル人材としての素地を養うとともに、持続可能な社会の創り手としての資質を高める。

2 事業の概要

- 期日 R2.11.22(土)～23(日) 1泊2日
- 対象 5歳～小学校2年生とその保護者
- 人数 24名(10家族)
- 場所 ネイパル足寄
- 協力 足寄町教育委員会、本別町子ども未来課
陸別町教育委員会

3 プログラム

	6:30	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
11/22 (土)								受付 13:00～	開 会	なかよく なろう	入 室	親子別 プロ グ ラム	世界の 11月23日	サンクス ギビングデー パーティー	入浴 自由交流	就 寝
11/23 (日)	起床 洗面	朝の つどい	朝食 準備	親子で イングリ ッシュ	振 返 り	閉 会	解散 11:30									

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 楽しみながら外国の言語や文化に触れられるプログラム
 - ・英語をつかったゲームや創作活動など親子で楽しみながら英語にふれる活動と、サンクスギビングデーなどの活動を設定し、外国文化を楽しみながら学ぶことができるようにした。
 - ・近隣市町村教育委員会などの協力を得て、外国人スタッフを6名確保し、食事や自由交流の時間も自由に交流することができるようにすることで、英語を身近に感じられるようにした。
- 保護者への学習機会
 - ・オリンピック・パラリンピックを見据え、道案内など保護者に対する英語による学習を行うことで、保護者自身の外国への興味関心を喚起できるようにした。



カナダの文化を楽しむ



英語を生かした体験活動

5 事業の評価

- アンケートから
 - ・「英語のことをもっと知りたいと思った」という項目に「とてもよくあてはまる」と回答したのは92%
 - ・「英語で話したり遊んだりするのは楽しかった」という項目に「とてもよくあてはまる」「あてはまる」と回答したのは92%
- 参加者の声
 - ・親子でイングリッシュが楽しかったです。特にいちばん最初のゲームが楽しかった。(子ども)
 - ・カナダのthanksgivingdayが10月なのを初めて知りました。同じネイティブでも、いろいろな国の先生方がいると面白いですね。(保護者)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 国際交流員や外国語指導助手など多くのネイティブスピーカーと活動することで、英語や外国の文化に対する興味・関心を高めることができたものと考えられる。
- 参加者の英語力や外国文化についての知識などのレベルに大きく差があり、レベルに応じたグルーピングやプログラム作りなどの工夫が必要である。



企画のポイント

ネイティブスピーカーと交流や英語の体験により、外国への興味関心を高める活動